

vol.36

2018年7月

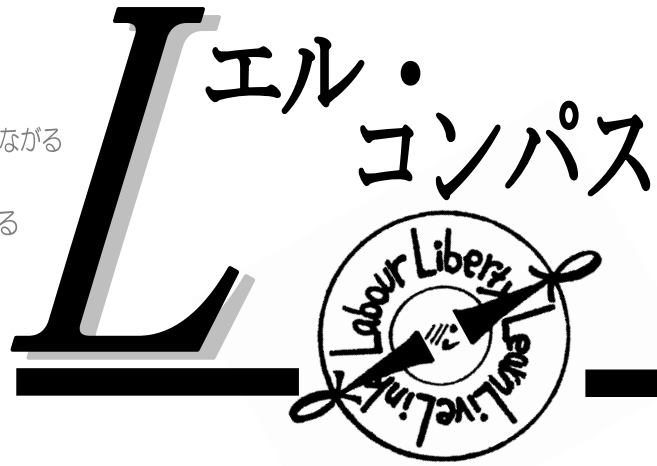
Link つながる

Live 生きる

Learn 学ぶ

Labour 労働

Liberty 自由



宝塚市立男女共同参画センター・エルは、すべての人が個人として、性にとらわれず、自分らしくいきいきと充実した生活を送ることができる「男女共同参画社会」の実現を目指すための施策推進の拠点施設です。センターの愛称“エル”は上記の5つのLの頭文字をとったもので、市民からの公募で決定しました。

宝塚市立男女共同参画センター



巻頭エッセイ「ひとり暮らしと長寿猫」	1
寄稿「#MeTooの時代の日本のフェミニズム 一個人的なことと政治的なことを接続するために	2
講座案内（8月～11月）	6
エル・フェスタのご案内など	8

ひとり暮らしと長寿猫

6月18日明け方、めったに泣くことのない愛猫パセリが2度も異常な声で泣くので不思議に思った朝、大阪府北部を震源地とする地震が起きた。

パセリは、仕事と子育てで目一杯だった21年前、ひとりっ子の娘が淋しかろうと、愛犬シンバとほぼ同時期に迎えた猫である。

娘は巣立ち、母は鬼籍に入り、愛犬も2年前に見送った後、ひとり暮らしになった今もパセリだけは傍らにいる。

『ご長寿猫がくれた、しあわせな日々』（2017年 ケニア・ドイ）によると、15歳の猫はすでに長寿猫というので、パセリは超長寿猫、人間の年齢にすると100歳をとうに超えている。

パセリの猫類はロシアンブルーで、原産はロシア北西部と言われ、別名「ボイスレスキャット」と呼ばれる大人しい性格で、繊細な心の持ち主だが、若い頃はストレスが溜まると凶暴化することもあって、シンバはいつも猫パン



チをくらっていたし、夜中には猛スピードで家中を走り回ることもあった。

今はご飯も勢い良く一気に完食とはいかず、間隔をあげながらの食べ方になってしまったが、相変わらず、しっぽを立ててすり寄りたり、顔をこすりつけたり、のどを鳴らすなどからだを使ってコミュニケーションを取る。

猫の語源は「寝る子（ネコ）」と言われるくらい睡眠時間が長い。長寿猫ということもあってか、観察してみたら1日24時間のうち20時間は寝ている。寝る場所は一か所に定まらない。自由気ままに寒いときは室内で一番暖かい所でからだを丸めて寝ているし、暑いときにはグルーミングや日向ぼっこをしてお腹の上に寝る。

ひとり暮らしを支える相棒として、静かで穏やかな長寿猫は最高、と感じる今日この頃である

NPO 法人 女性と子どものエンパワメント関西 理事長

田上時子

#MeTooの時代の日本のフェミニズム

—個人的なことと政治的なことを接続するために

1.日本における#MeTooなどの拡がり



2017年の終わりごろから、twitter など SNS 上にて同じテーマでの投稿を示すハッシュタグ(＃)を利用し、セクシュアルハラスメントの問題を訴え議論する海外の#MeTooの動きが話題になり始めた。#MeTooにより、セクハラ被害はあなただけでなく、私も同じ経験を持つ、それはあなたの運や不注意ではなく社会全体の問題なのだ、というメッセージを共有でき、議論する場が作られる。活動そのものは10年以上前より、女性およびマイノリティの運動の一環として続けられてきたものであるが、ハリウッドの俳優や有名人たちが関わることで、新しい時代のフェミニズムの活動のインパクトをもってウェブ上やリアルな活動によって広く世間に拡散していった。

日本でも 2017 年より、海外の動きとして SNS など共有される流れはあったが、広く知られることとなったのには、ブロガーの、はあちゅうさんが企業に勤務していた頃に受けたセクハラを#MeTooで告発したことや、写真家の荒木経惟氏によるセクハラに対しモデルの KaoRi さんが声を上げたこと、そしてその後の政府関係者やメディアによるセクハラ被害の深刻さが認識されるようになったことなど、日本の性意識を象徴するような一連の出来事が背景にあった。それ以前にもジャーナリストの伊藤詩織さんが受けた深刻な性暴力の事件があった。現在でもイギリス BBC が彼女や日本のセクハラをテーマに映像を制作・公開する一方、国内では「ハニートラップだ、売名行為だ、と後ろ指をさされる」(堀 2018,183) など、その告発さえも非難する声が目立ち、この事件は今なお#MeTooとともに批判や議論の最中にあるといえる。

2.日本のフェミニズムと「フェミニズム離れ」

昨今の#MeTooの拡大やセクハラ問題への関心の高まり以前からの、欧米のフェミニズム同様、セクハラ・性暴力に対し声を上げてきた日本のフェミニズムの長い歴史も忘れてはならない。

日本で第二波フェミニズムが起こったのは1960年代からの草の根の女性運動であるウーマン・リブであった。そこでは「個人的なことは政治的なこと」として、性における男女の権力関係が重要な社会問題として議論された。

ウーマン・リブ以降の日本のフェミニズムは、一方で「70年代半ばから80年代始めにかけての行政担当者や研究者への拡大を経て、80年代後半からはマス・メディアという舞台に華々しく登壇」(江原 1991,5)し、他方で、「より実践的な活動、行政への働きかけに重点を置く活動など、さまざまな草の根の活動が存在した」(荒木 2018)。このような底流があつてこそ、それまでは男性中心主義的な社会で「ただのコミュニケーション」や「些細な事」とされてきた性的な嫌がらせに対し、セクハラ



荒木 菜穂さん

関西大学、神戸女学院大学他非常勤講師。

女性学・ジェンダー論などを担当。日本女性学研究会、日本女性学会、怒りたい女子会などで活動。

であり問題である、という視点が持たれるようになった。

しかしながら、アカデミズムや行政を通じた一般社会への普及の一方で、女性による「フェミニズム離れ」（江原 2000,3）も起こる。自らを「弱い女性」ととらえる女性たちにとってフェミニズムは、「女性の自立」を強制する抑圧的な思想（江原・大橋 2000,18-20）とされてしまう。反対に、女性差別など自分で乗り越えられると考える「強い女性」たちは、「それぞれの女が生まれ落ちた時から持っている固有性を隠蔽」（山下 1991,30-31）し女性を弱者と位置付けるフェミニズムや女性学を「理屈はいい、さっさとやり方を教えろ！」（荷宮 2004,127）と、役に立たない思想と受け止める。

誤解を恐れずに言えば「弱い立場」「強い立場」の女性それぞれから違和感が示される背景には、共に疑い、考える、というフェミニズム本来の想像力や意味が90年代頃までに十分に伝わってこなかったことがあるのではないか。その一方、2000年代にはフェミニズムへの保守層からの反動も生じている。また、そもそもの女性差別や、社会についての議論や権力批判を避ける「政治」嫌いの空気が日本社会の特徴の一つとして漂っている。現代においても、女性たちが政治的な発信をする際に性的なからかいが起こるなど、「ネットメディアは『異議申し立てのツール』として有効なものであるが、同時に『セクハラが起こる場』でもある」（堀 2018,184）状況があり、筆者が普段接する若い女性たちもしばしば#MeTooへの違和感を示している。

3.#MeTooは「フェミニズム離れ」の突破口となるか

とはいえ、日本社会においても、昨今の政治状況を背景に、様々な新しい政治運動が起こっている。#MeTooの意思表示をする女性たちも確実に存在し、女性がフェミニズム的活動や政治的活動に日常的に関わる動きが、活発となってきている。

ウェブ上での運動は、「慣れ親しんだソーシャル・メディアによって、親しい知人から送られてくるメッセージに対する親和性が高まることで政治的活動への抵抗感などの障壁や敷居が下がる」（福田 2016,54）といった、運動や同じ関心を持つ他者とのつながりを持ちやすいというメリットがある。近年の新たなフェミニズムの場合、女性として生きる上でのモヤモヤする経験や疑問を、アカデミズムや政治制

度といった距離感のあるものではなく、身近な活動としてのフェミニズムの中で共有しやすいという効果が考えられる。「わたしも！」という#MeTooはもちろんのこと、これらの動きは、1960年代の第二波フェミニズムにおいて行われてきた、「男性中心社会の中では閉ざしてきた女性の本音を共有」し、「女性個人の問題」ではなく「女性全体の問題」であるという気付きを生み出す（河野 2018,82）コンシャスネスレイジング（CR）の手法にもつながり、女性学やフェミニズムの議論の積み重ねがあってこそのものである。

日本における#MeTooにつながる新しいフェミニズムの動きについてもう少し紹介したい。草の根のフェミニズム的活動そのものは

#MeTooの時代の日本のフェミニズム

1970年代より続いてきたが、2011年以降、原発事故やその後の生活に直結する政治的問題に関して、女性が声を上げる多数の動きがあった。『全国おばちゃん党』（政党ではなく、大阪の女性たちを中心に facebook でつながっているグループ）や『怒れる女子会』などである。後者は「オッサン政治」を変えたいという意志で「いいなあと思う人はどんどん自由に開催するよう呼びかけ」（荒木 2018）、全国で同時多発的に活動を行っている。また、東京を中心にトークショーや映画上映、カフェなどを企画する『ゆる・ふえみカフェ』は、「必ずしもひとつの思想／「イズム」を共有しているわけではない」ことを前提とし、「別々に行動するのでも拙速に『連帯』を求めるのではなく」、「ゆるやかにつながる」ことを問題意識としている活動である（荒木 2018）。ウェブ上やリアルで女性たちが集まり、女性として生きる上での疑

問を共有し声を上げる様々な活動は、強い目的で縛られる従来の運動ではなく、緩やかな関わり方が可能であるところが共通している。また、私自身も、70年代より続く女性学的活動にも軸足を置いている一方、若い世代と共に、『怒りたい女子会』という活動に関わっている。日常のモヤモヤとする違和感を共有し合うというワークショップや、性暴力や性役割、政治といった様々な問題を掲げた女子デモを開催してきた。

これらの新たなフェミニズムの動きは、過去のフェミニズムとの連続性に加え、ウェブを利用したより多様な女性とのつながりや、昨今の多様性の共通認識の中で、女性とフェミニズムとの距離を縮め、かつ、多様な女性が分断することなく連帯できる社会への希望をそこに見出すことも十分可能である。

「怒りたい女子会」の活動



(女子デモ)



(ミニコミ誌「コレアカ」)



(女子デモのチラシ)



(モヤモヤぶっちゃけトーク&ワークショップ)

#MeTooの時代の日本のフェミニズム

(参考文献)

- 荒木菜穂, 2018, 「日本の草の根フェミニズムにおける「平場の組織論」と女性間の差異の調整」牟田和恵編『架橋するフェミニズム歴史・性・暴力』松香堂書店。
<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/67844/>
- 江原由美子, 1991, 『ラディカル・フェミニズム再興』勁草書房。
 —, 2000, 『フェミニズムのパラドックス』勁草書房。
- 江原由美子・大橋由香子, 2000, 「浸透したがゆえの伝わらなさ」『インパクション』117, インパクト出版会。
- 福田充男, 2016, 「メディアの進化と『危機管理』化する社会」『マス・コミュニケーション研究』No.89, 日本マス・コミュニケーション学会。
- 河野貴代, 2018, 『わたしを生きる知恵 80歳のフェミニストカウンセラーからあなたへ』三書房。
- 堀あきこ, 2018, 「**く**からかいの政治」二〇一八年の現在——メディアとセクハラ『現代思想』2018年7月号, 青土社
- 荷宮和子, 2004, 『なぜフェミニズムは没落したのか』中公新書ラクレ。
- 山下悦子, 1991, 『「女性の時代」という神話』青弓社。

Book & Cinema



Black Box ブラックボックス 伊藤詩織／文芸春秋／2017年



著者であるジャーナリストの伊藤詩織さんは、2015年、ホテルで意識のない状態で性的暴行を受けたとし、準強姦容疑で警視庁に被害届を提出。ところが、東京地検は嫌疑不十分でこの件を不起訴と判断しました。詩織さんは2017年5月29日に司法記者クラブで会見し、検察審査会への申し立てを公表しましたが、9月22日、検察審査会もこれを「不起訴相当」と議決しました。当事者しか知りえない密室のやりとり、そして、レイプの被害届と告訴状を提出したからこそ直面した、レイプ被害にまつわる司法や社会体制の不備、メディアの壁について、伊藤さんはこの本で詳細に記しています。マスコミの反応は今も鈍く、ネットでの誹謗中傷は続いています。



たたかいつづける女たち～均等法前夜から明日へバトンをつなぐ～



監督：山上千恵子 日本／2017年／71分

この映画は、雇用機会均等法成立を主なテーマとして、1980年代に職場の男女平等を求め、からだを張って声を上げた運動をハイライトに、現在、マタハラ・セクハラに苦しみながら働き続けなければならない女たちや、働くという行為によって命を削りとられる女たちなどの生の声で構成されています。クリスマスイブの日、ウーマン・リブの女たちは、真の男女平等法案（自分たちで作った）をバトンに入れて、新宿区から労働省まで、走るのですー。

今、女性たちが社会に感じる違和感を声に出したり、様々なメディアを通して表現活動をするなどの新しいフェミニズム的活動は、過去からの運動の連続であることを実感します。センターでは、6月30日に山上監督をお招きし上映会を開催しました。当時の運動を知る世代や学生さんたちなど多様な方々が参加され、それぞれの立場の思いを共有し、これから私たちはどうしていくべきかなどについて語り合う場となりました。

(※各地で自主上映会が開催されています)

講座案内

8月~11月

講座はすべて
参加費・保育は無料です
申込み電話番号：0797-86-4006

ほっとサロン

8月分受付中

10月分は9月3日（月）から受付

8月29日（水曜日） 10月30日（火曜日） 13:30~15:30

わたしに戻る 読書の時間

情報・図書コーナーにある図書や雑誌を読んでリフレッシュ、子育てからちょっと一息、時には『ママ』から『わたし』に戻る時間を過ごしてみませんか。

- 対象：子育て中の女性 20人
- 保育：15人（1歳～就学前まで） 要予約・先着順

起業・就労セミナー

8月3日（金）から受付

9月11日・18日・25日（火曜日） 全3回 10:00~12:00

‘お金のこと’から考える働き方

税金や社会保険の制度、103万円・106万円・130万円、そして新しくできた150万円の壁についても詳しく解説します。キャリア&マネープランをしっかり立てて、再就職の一步を踏み出してみませんか。

9月11日	ライフプランとお金の話 ~お金と仕事の最新事情~
9月18日	書いてみる！役に立つ マネープラン・キャリアプラン
9月25日	後悔しない！働き方いろいろ ~夢を叶える 再就職~

- 講師：福一由紀さん（マネーラボ関西 代表）
- 対象：再就職をめざす女性 30人
- 保育：10人（1歳～就学前まで） 要予約・先着順

親子育ちセミナー

8月3日（金）から受付

9月22日（土）・23日（日） 全2日間

3歳からのCAPワークショップ

CAPとは子どもが暴力から自分を守るためのプログラムです。就学前のプログラムでは、人形を使い楽しく安心して学べるよう配慮しています。子どもへの暴力は、小さな子どもが標的となるケースが多く早い時期からCAPを学ぶことが有効です。

- こどもワーク 全2日間
3歳～就学前の子ども 15人 ※子どもが参加される場合は必ず保護者の大人ワークへの参加が必要です。
9月22日（土）13:30~15:00：子どもの権利・いじめロールプレイ・誘拐ロールプレイ
9月23日（日）13:30~14:00：性暴力ロールプレイ ※保護者は別室で待機
- 大人ワーク 1日のみ
子どもに関わる大人の方・保護者 30人
9月22日（土）13:30~15:00：子どもへの暴力とは・CAPについて・ロールプレイの実演など
※保育は9月22日のみ 10人（1歳～就学前まで） 要予約・先着順

保育について

センターでの保育は、講座やイベントなどで保育が必要な場合に、その都度保育グループの協力により運営しており、単なる「子ども一時預かり所」ではないと考えています。

- ① 子どもを預け、預かる営みを、おとなの学習の一つととらえ
- ② 子どものよりよい仲間づくりの場であるように配慮し、おとなが協力し合い
- ③ 地域に開かれた、集団生活への導入につながるような共同保育をめざして開設しています。

※キャンセル・遅刻される場合は必ず連絡してください。



講座案内

8月~11月

講座はすべて
参加費・保育は無料です
申込み電話番号：0797-86-4006

情報リテラシー

8月3日（金）から受付

9月27日（木曜日） 10:00~12:00

「愛と家事」 著者 太田明日香さんをお招きして ~書くことで心の中を整理する~

母、結婚、家族…、似た悩みをもつ読者に深い共感と呼んだエッセイ集「愛と家事」。この本は当初「ZINE」として発行され、のちに創元社から増補再編集、出版されました。著者の太田さんにエッセイにまとめるまでの経緯や「ZINE」の可能性についてお話を伺います。（ZINEとは、個人的に作った少数数の出版物のことです。）



- 講師：太田明日香さん（フリーランス編集者、ライター）
- 対象：テーマに関心のある女性 20人 ●保育：10人（1歳~就学前まで） 要予約・先着順

男性セミナー

9月3日（月）から受付

10月27日・11月10日（土曜日） 全2回 10:00~12:00

産業カウンセラーが教える「つぶれない働き方」の教科書

ストレスを抱え、勤め先でつぶれてしまう人が急増しています。では、つぶれない働き方をするためには、どうしたらいいのでしょうか。自分と仕事とうまくつき合い、働くコツをお伝えします。

10月27日	・つぶれる働き方とは ・男性相談から見えること
11月10日	・ストレスについて知ろう ・しなやかな心を養おう



- 講師：吉岡俊介さん（シニア産業カウンセラー／キャリアコンサルタント）
- 対象：テーマに関心のある男性 30人 ●保育：10人（1歳~就学前まで） 要予約・先着順

市民力開発講座

10月1日（月）から受付

11月15日~12月13日 全5回

私たちの「エンディング」を考える

認知症になっても、シングルであっても住み慣れた場所で、いつまでも自分らしく！

- 対象：テーマに関心のある方 40人 ●保育：10人（1歳~就学前まで） 要予約・先着順

男女共同参画プラン推進フォーラム

会場：ソリオホール



有馬稲子・語るエッセイ

10月28日（日）14:00~16:00 10月3日（水）から受付

※詳細は、ホームページ等でお知らせします。

エル・フェスタ

8月25日(土) 10:00~15:00

8/3(金)から受付 詳しくはHPをご覧ください。

主催：宝塚男女共同参画センター連絡協議会・宝塚市立男女共同参画センター

赤ちゃんマッサージ&親子リズム体操 10:00~11:30 ※予約+当日受付	みんなおいでよ!絵本タイム 13:30~15:00
ちくちくぬいとポーチへボタンつけ 10:00~12:00	夏休み 作って遊ぼう(工作) 13:30~15:00
フリーマーケット 10:00~13:00	エネルギーっておもしろい!(手回し発電など) 13:30~15:00
オープンプレイルーム♪ おやこであそぼっ♪ 10:00~14:00	動くおもちゃを作ろうよ!(理科工作) 13:30~15:00
人形劇「カボとピノ」併演「チューターとクッキー」 11:30~12:30 ※予約のみ	喫茶 ひととき(コーヒー・紅茶、パン) 10:00~14:30
マジックとバルーンアートで笑顔いっぱい! 12:00~13:00	軽食(ホットドッグの販売) 12:10~13:10 ※売り切れ次第終了

(一部有料)

女性のための相談室

予約電話番号：0797-86-4006

電話相談	毎週月・火・木・金曜日 10:00~12:00、13:00~16:00 直通電話：0797-86-3488	一時保育 あり
面接相談	第2・4水曜日 第1・3・5土曜日 10:00~、11:00~、12:00~ ※要予約・相談時間は1人50分	
法律相談	第1土曜日(原則) 14:00~、14:45~、15:30~、16:15~ ※要予約・相談時間は1人45分・市民対象	
起業相談	第1・3水曜日 10:00~、11:00~ ※要予約・相談時間は1人60分・市民優先	
チャレンジ 相談	第1水曜日 11:00~、12:00~、13:00~ ※要予約・相談時間は1人50分	

宝塚市立男女共同参画センター・エル

宝塚市指定管理者

NPO法人 女性と子どものエンパワメント関西

開館時間：月曜日~土曜日(9:00~21:00)

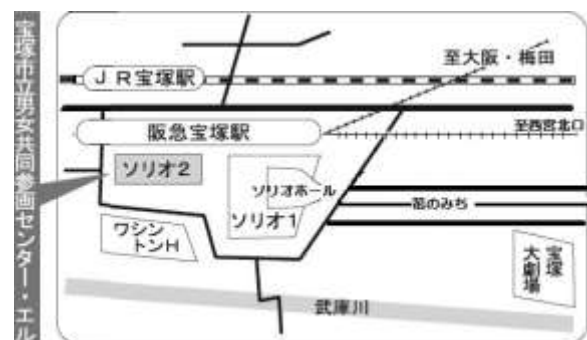
日曜日・祝日(9:00~17:00)

休館日：毎月第2日曜日・年末年始

〒665-0845 宝塚市栄町2-1-2「ソリオ2」4階

TEL：0797-86-4006 FAX：0797-83-2424

メール：elsenternpo-empower@takarazuka-ell.jp



ホームページ：http://www.takarazuka-ell.jp/